

令和6年(2024)2月20日

令和5年度(2023)

第5回出雲市議会(定例会)
施政方針質問通告一覧表

令和5年度（2023）第5回出雲市議会（定例会）
施政方針質問通告一覧表 目次

| 2月20日（火） 10:00開会 | | | |
|------------------|-----------|---------|-------|
| 順 番 | 会 派 名 | 議 員 氏 名 | ペー ジ |
| 1 | 真 誠 ク ラ ブ | 萬 代 輝 正 | 3、4 |
| 2 | 政 雲 ク ラ ブ | 鐘 推 義 憲 | 5～7 |
| 3 | 平 成 ク ラ ブ | 西 村 亮 | 8、9 |
| 4 | 公 明 党 | 石 橋 広 信 | 10～12 |
| 5 | 日 本 共 産 党 | 後 藤 由 美 | 13、14 |

| | | | |
|-----|----|-------|-------|
| 質問者 | 26 | 真誠クラブ | 萬代 輝正 |
|-----|----|-------|-------|

質問事項・質問内容

(1) 所信について

- ① 観光入込客数と宿泊者数について
 - ア それぞれの経済効果と算出根拠、市内の宿泊施設のキャパシティーについて分かりやすく数年前と比較した数字を伺います。
- ② 山陰道「出雲・湖陵道路」「湖陵・多伎道路」の開通について
 - ア 具体的にどのような効果が期待されると認識しているか伺います。

(2) 市政運営のポイントについて

- ① 「活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進」について
 - ア 「地域計画・目標地図」を新年度に策定するとのことですが、誰が、どのような組織で、いつごろから、いつごろまでに策定されるのか、計画策定の最大の目的は何なのか伺います。
 - イ 「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」としてとりまとめ、「攻めの林業」への転換を促進するとのことですが、どのような計画になり、攻めの林業とは具体的な動きとはなにか伺います。
 - ウ 市西部地域における新たな工業団地の検討について、具体的な戦略を伺います。
 - エ 「(仮称)MMOいずも(モビリティ・マネジメント・オーガニゼーション)」とはどのようなものなのか、具体的な組織の内容や検討内容を伺います。
- ② 「移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興」について
 - ア シェアサイクルの導入実験、自転車活用推進計画を策定し、サイクリングロードの検討・整備に着手とのことですが、エリア等、具体内容を伺います。
- ③ 「ハード・ソフト両面による安全・安心なまちづくり」について
 - ア 市街地の浸水対策として今市及び塩冶地区の対策を実施するとともに、国の新たな交付金を活用し、生活環境道路改良事業を拡充されるとのことですが、詳細と意気込みを伺います。
- ④ 「デジタルファーストを実感できるまちづくり」について
 - ア 「窓口に行かなくてよい」改革、「待たなくてよい」「申請書を書かなくてよい」改革について、改革の内容を分かりやすく示すとともに、スケジュールも示していただき、また、マイナンバーカードについての申請状況も伺います。
- ⑤ 「未来に向けた環境にやさしく持続可能なまちづくり」について
 - ア 「脱炭素のまち出雲」の実現に向けての取り組みを強化するとのことですが、現在の取り組み状況も含め、新たな取り組みを伺います。
 - イ 「環境にやさしい農業研究会」を中心に、有機栽培等の実証実験、農産物の販売戦略の検討を進めるとのことですが、研究会では誰が先導し、どのようなメンバーで具体的に進めるのか伺います。

(3) 主要施策・主要事業 ともに守る

- ① 「未来に向けた脱炭素社会へのチャレンジ」について
 - ア 認知度がまだ低いと思われる「デコ活」の普及を今後どのように進めるのか伺います。
 - イ 海洋ゴミについて、特に世界で問題化している海洋プラスチックについての対応を伺います。
 - ウ 神西湖の水環境の保全等の取り組みについて、現状認識と具体的な方策について伺います。

(4) 主要施策・主要事業 ともに結ぶ

- ① 期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲について
 - ア 国の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」の予算（国）と概要を伺います。
- ② あのまち・このまち 出雲を結ぶ について
 - ア 台湾やインドとの経済交流の推進の方向性とは何なのか、どのような経済効果を期待するのか伺います。

(5) 主要施策・主要事業 ともに支える

- ① 「産みたい」「育てたい」を応援について
 - ア 保育所への途中入所（特に1、2歳児）が出来ない状況が続いている中、今後の市の対応と認識を伺います。
 - イ 医療的ケア児の状況と受け入れの相談、支援状況を伺います。
 - ウ 新たな「出雲市こども家庭センター」の具体的な取り組みと対応される人材の活用策と確保策を伺います。
- ② 「地域とともに持続可能な中山間地域を」について
 - ア 中山間地域の農業について、花木栽培、ビオトープなど、新たな農地管理とはどのようなものか伺います。
- ③ 出雲のインフラを整え「安心」を支えるについて
 - ア 旧市役所跡地や休止中の出雲体育館等、市有財産の有効活用についての進捗と考え方を伺います。
 - イ 一畑電車について「一畑電車支援計画」に基づく設備の改良、維持に対し支援をしていますが、駅の活性化や民間による周辺開発、駅の再配置等の考えはないか伺います。

(6) 主要施策・主要事業 ともに育む

- ① 「家庭・地域・学校で育む出雲の教育を」について
 - ア 不登校対策について未然防止策とは具体的に何なのか、不登校相談員の配置、ICT環境の充実内容についても具体的な内容を伺います。
 - イ 中学校部活動について、部活動指導員の現状と地域移行について、市としての考え方を伺います。

| | |
|---|---------------|
| 質問者 | 6 政雲クラブ 鐘推 義憲 |
| 質問事項・質問内容 | |
| (1) 市政運営のポイント「活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進」について | |
| <p>① 農業分野における「地域計画・目標地図」について伺う。</p> <p>ア 10年後の農地利用の姿を明確化するため、本市においても策定が進められていますが、取組の現状と今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>② 農業の担い手確保について伺う。</p> <p>ア 農業の維持・振興において、担い手確保は喫緊の課題となっています。本市における現状と、現場からはどのようなニーズがあるのか伺います。</p> <p>イ 「出雲農業未来の懸け橋事業」の拡充が予定されていますが、その内容と、特に新規就農者に対する具体的な支援内容について伺います。</p> <p>③ 林業振興について伺う。</p> <p>ア 「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」の内容、策定期間及び策定スケジュールについて伺います。</p> <p>イ 「攻めの林業」への転換を促進するとされていますが、これまでの林業政策をどのように認識されているのか、また、担い手の確保・育成の具体策を伺います。</p> <p>④ 市西部地域への新たな工業団地の整備について伺う。</p> <p>ア 具体的な整備予定地域について伺います。</p> <p>イ リスク分散の観点から製造業以外の分野からの誘致も進めるべきであると考えますが、所見を伺います。</p> <p>⑤ 「(仮称)MMOいずも(Mobility Management Organization)」について伺う。</p> <p>ア 本組織は、官民が連携して持続可能な地域公共交通を構築していくため設置される予定ですが、その概要・支援活動の内容、構成メンバー・人数、設置期間について伺います。</p> | |
| (2) 市政運営のポイント「移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興」について | |
| <p>① 「観光基本計画」の策定について伺う。</p> <p>ア 現在取り組まれている観光戦略を、更に地域と一体となって進めていくために策定が予定されている本計画は、官民が一体となって策定されるのか、また、その手順と策定スケジュールについて伺います。</p> <p>② 周遊型観光の取り組みについて伺う。</p> <p>ア シェアサイクルの導入実験が予定されていますが、実施予定地域について伺います。</p> <p>イ 「自転車活用推進計画」策定の目的及び内容、また、「島根県自転車活用推進計画」との関連について伺います。</p> <p>③ ドアツードアの定額乗合交通の実証運行について伺う。</p> <p>ア 実証運行の現状・結果、また、佐田地域以外の地域での実施予定について伺います。</p> | |

(3) 市政運営のポイント「ハード・ソフト両面による安全・安心なまちづくり」について

- ① 防災訓練の取組方針について伺う。
 - ア 日頃から有事の備えとして、地域を挙げた防災訓練への取り組みは大変重要ですが、マンネリ化は避けなくてはなりません。そのための新たなアイデア等、改善策について伺います。
 - イ 自治会への加入率が低下する中、自治会未加入者の防災訓練への参加に向けた方針について伺います。
 - ウ 近年、避難所における女性スタッフの不足が、全国的に問題となっていることを踏まえ、防災訓練の実施段階から準備や対応をしておく必要があると考えます。本市における避難所の女性スタッフの現状と対応方針について伺います。
- ② 生活環境道路改良事業の拡充について伺う。
 - ア 緊急時の円滑な避難につながるよう、本事業の拡充が予定されており、国の新たな交付金が活用される予定となっていますが、この交付金の内容について伺います。

(4) 市政運営のポイント「子育てにやさしい選ばれるまちづくり」について

- ① 「出雲市こども計画」について伺う。
 - ア 本計画は、各ライフステージにおける切れ目のない総合的な支援に向けて、子どもの意見を反映して策定することとされていますが、どのような手段・方法で子どもの意見を集約し反映されるのか、また、本計画の内容と策定スケジュールについて伺います。
- ② 子ども医療費助成の高校生年代までの対象年齢の引き上げについて伺う。
 - ア どのような内容の制度なのか、どの位の費用が必要となると想定されているのか、また、実施予定時期について伺います。

(5) 市政運営のポイント「未来に向けた環境にやさしく持続可能なまちづくり」について

- ① 「環境にやさしい農業研究会」について伺う。
 - ア 環境にやさしいまちづくりの推進に向けて、農業分野では「環境にやさしい農業研究会」が設置されています。そこで、設置後半年が経過した本研究会の取組状況や成果、今後の予定等について伺います。また、昨年、農業者・子どもの保護者・JA・本市の4者による「オーガニック給食」についての意見交換会が開催されましたが、その後の状況について伺います。

(6) 主要施策・主要事業 ともに創る（海・山・大地の恵みを生かす）

- ① スマート農業の普及について伺う。
 - ア 農業分野においては、スマート農業の実証試験の結果を踏まえ、平野部や中山間地域など、それぞれの環境に適した技術の普及を更に進めていくこととされていますが、農家がスマート農業を導入する際の金額面での支援について伺います。

(7) 主要施策・主要事業 ともに創る（『人財力（じんざいりょく）』で地域産業を“前へ”）

- ① 外国人住民の就労機会拡大に向けたメンター制度の導入について伺う。
 - ア 外国人住民の就職支援として、安心して働けるようにメンター制度を導入し、就労機会の拡大に取り組むこととされていますが、どのような制度の内容なのか、導入効果をどのように考えておられるのか、また、どこに導入される予定であるのか伺います。

(8) 主要施策・主要事業 ともに守る（誰もが『安全・安心』に暮らせるまちに）

- ① 防災行政無線の加入促進について伺う。
 - ア 避難情報などの人命にかかわる重要な防災情報などを提供する防災行政無線は、安全・安心に暮らしていくうえで大変重要なツールです。しかしながら、その加入は低調となっており、加入率向上に向けた取り組みは喫緊の課題であると考えます。そこで、今後の加入促進に向けた具体策について伺います。

(9) 主要施策・主要事業 ともに支える（『産みたい』『育てたい』を応援）

- ① 児童クラブの医療的ケア児の受け入れ体制について伺う。
 - ア 児童クラブにおいても、学校のような医療的ケア児への十分な支援が行える体制の構築を要望されていますが、本市の方針について伺います。
- ② 『出雲市こども家庭センター』について伺う。
 - ア 本センターの機能は、これまでどのような組織が担っていたのか、設置に至った経過と、設置意義及び役割について伺います。

(10) 主要施策・主要事業 ともに支える（ぬくもりのある福祉サービスを）

- ① 高齢者福祉における、市内の医療機関・介護施設等の情報を迅速に検索するシステムの構築について伺う。
 - ア 本システムの構築は、民間企業と連携して進められることとなっています。本システムで個人情報等の取扱いも想定されますが、どのような民間企業と連携するのか、また、どのような仕組みを考えられているのか伺います。

(11) 主要施策・主要事業 ともに育む（家庭・地域・学校で育む出雲の教育を）

- ① 不登校対策について伺う。
 - ア 不登校対策としてのICT環境の充実とは、具体的にどのような内容なのか伺います。また今後は、家庭学習に重点を置く方針であるのか伺います。
- ② 学校給食における食育について伺う。
 - ア 学校給食においては、食育だけでなく、農業の重要性を伝える食農教育の充実を図ることが大切であると考えますが、所感を伺います。

| | |
|--|---------------|
| 質問者 | 21 平成クラブ 西村 亮 |
| 質問事項・質問内容 | |
| (1) 市政運営のポイント「活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進」について | |
| <p>① 活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の推進について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 持続可能な力強い第一次産業の取組み強化について イ 10年後の農地利用の姿を明確化する「地域計画・目標地図」策定は ウ 出雲農業未来の懸け橋事業の拡充 エ 担い手確保など喫緊の課題への対策の強化 オ 収益性のある市公有林の売却・伐採を積極的に進める意義 カ 「いずもの森ブルースカイ・グリーン計画」 キ 攻めの林業への転換を促進 林業振興担い手の確保・育成 | |
| (2) 市政運営のポイント「移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興」について | |
| <p>① 移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興について伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 移住・定住の促進で東京圏等での若者を対象とした交流会 イ 交流人口・関係人口の拡大 ウ 観光戦略の推進・観光基本計画 エ 中山間地域振興について、企業や団体と連携し、人材が不足している分野に後継者候補となりうる地域おこし協力隊員の配置とは | |
| (3) 市政運営のポイント「ハード・ソフト両面による安全・安心なまちづくり」について | |
| <p>① ハード・ソフトによる安全・安心なまちづくりについて伺う</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 大規模災害に対する本市防災対策 イ 市民の安全・安心を確保する現在の防災対策と今後の対応力の強化 ウ 災害種別に応じた防災訓練関係機関との連携強化等市民の防災意識高揚の徹底 エ 治水・浸水等の対策工事 オ 生活環境道路改良事業の拡充 | |

(4) 市政運営のポイント「子育てにやさしい選ばれるまちづくり」について

- ① 子育てにやさしい選ばれるまちづくりについて伺う
 - ア 「こども大綱」を踏まえた「出雲市こども計画」
 - イ 出会い・結婚・妊娠・出産・子育て・教育等総合的な支援
 - ウ 子どもの医療費助成について具体策
 - エ 「少子化対策はまちづくりの総合対策」であるとの認識のもと安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
 - オ 子どもの教育費助成についての所見
 - カ 雇用の確保や働きやすい職場環境、ワークライフバランスの推進、教育環境の充実など市を挙げての取組み

(5) 主要施策・主要事業「ともに創る・ともに支える」について

- ① 海・山・大地の恵みを生かす施策について伺う
 - ア 水産振興について、担い手の確保・育成
 - イ 水産資源のブランド化への取組み
 - ウ 内水面漁業について新たに作業の省力化等を図るための支援
- ② 出雲のインフラを整え「安心」を支えるについて伺う
 - ア 出雲市の管理漁港に関する維持・管理状況
 - イ 今後の管理漁港対策・方針

| | |
|---|-------------|
| 質問者 | 5 公明党 石橋 広信 |
| 質問事項・質問内容 | |
| (1) 所信について | |
| <p>① 目標人口17万人台キープを目指してのまちづくりについて伺う。</p> <p>ア 「出雲力」をフルに活用したまちづくりを進めるにあたり、出雲新話2030にある「出雲力」をどのように活用されるのか伺います。</p> <p>イ そのまちづくりのための結婚から子育てまでの切れ目のない支援、地域課題の解決、デジタル化の推進等、各種施策を前進させるための取組みと今までの取組みとの違いを伺います。</p> | |
| (2) 市政運営のポイント「活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進」 | |
| <p>① 活気あふれる地域経済への基盤強化と官民連携の更なる推進について伺う。</p> <p>ア 幅広い企業の集積があつてこそ、相乗効果が期待されると思いますが、出雲斐川インター企業団地への企業誘致活動に関して中京圏域の製造業とされる理由と、また市西部地域における新たな工業団地に関しても同じなのか伺います。一方で、市内の工業団地には、出雲市東部工業団地など、まだ敷地が空いている団地も見受けられますが、工業団地への企業誘致に関する考え方について見解を伺います。</p> | |
| (3) 市政運営のポイント「移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興」 | |
| <p>① 移住・定住の推進、交流人口・関係人口の拡大と中山間地域振興について</p> <p>ア 移住・定住の促進に向けての、住みやすく魅力ある本市の強みを生かした取組みの具体的な内容と、その出雲市の強みを熟知され、活躍されている方々（例えば市の産業サイト「出雲人」で紹介されている皆様）の声の効果について伺います。</p> <p>イ 今後の観光戦略のエリアごとの取組みの方向性を含む新たな観光基本計画の策定はどのようにして進めていかれるのか伺います。</p> <p>ウ 2025大阪・関西万博に関して、出雲へ来ていただくための手段も大切になると思います。来ていただくための目的がより大切になると思いますが、万博が行われる現地ではどのような取組みをされるのか伺います。</p> | |

(4) 主要施策・主要事業（ともに創る）

① 地場企業が地域を支えるについて伺う。

ア 市内中小・小規模企業が多様で持続的な経済活動ができるための「出雲市中小企業・小規模企業振興計画」の第2期の支援にあたり、第1期の同計画の実績および市としての評価を伺います。

イ 「NPO法人ミライビジネスいずも」や関係機関と連携して行われる各種支援に対し、他自治体の同じような事例を見ると、官民がより一体となり伴走型の取組みが効果を発揮しているようですが、そのかかわり方に関して伺います。

(5) 主要施策・主要事業（ともに結ぶ）

① 期待（来たい）が膨らむ観光のまち出雲について伺う。

ア 再認定を受けた日本遺産「日が沈む聖地出雲」はその舞台である日御碕から多伎までのエリア全体での民間事業の活性化の推進により、今後どのように開発されていくのか伺います。

イ 多くの観光客に周遊していただくための周遊マップに関しては、できれば各地域からの声を収集していただき、地元が推す宝物を観光客にPR出来ればと思います。見解を伺います。また、観光客のデータ分析に関しては、どういった内容のデータを取得される予定か伺います。

(6) 主要施策・主要事業（ともに支える）

① 「産みたい」「育てたい」を応援について伺う。

ア 児童クラブでは、どこも同じような困りごとを抱えていると思いますが、規模の小さいところは特にそのようで、今年度より適用された国の通知の中で、開所日数の250日の壁の問題（年間250日を割るか、超えるかによる支援の違い）、また10時間の2人体制により開所認定とする問題で対応が大変なようですが出雲市の考えを伺います。

イ 出雲市子ども家庭センターの設置に関して、そのスタッフ、開始時期、市民への周知方法、相談しづらい人たちへの対応方法など一連の内容を伺います。

(7) 主要施策・主要事業（ともに育む）

① 家庭・地域・学校で育む出雲の教育をについて伺う。

ア 高校生と地域をつなぐ仕組みづくりに関して、令和3年度の高校生アンケート結果などを見ますと、「高校生が思う今後のまちづくりに向けて重要だと思ふ取組み」では第一位・交通ネットワークの充実、第二位・活気ある商店街をつくるなど、よく出雲を観察していらっしゃいます。この大切な次世代を担う高校生に対してどのような仕組みづくりを検討されているのか伺います。

イ 不登校は出雲市においても大変重要な問題ですが、その対策としてICT環境の充実を図るとあります。その取組み内容と、他地域で活用されているメタバース（仮想空間）で不登校支援をなされている事例に対しての考えを伺います。

(8) 主要施策・主要事業（ともに育む）

① 人が地域を、地域が人を育てるについて伺う。

ア 自治協会とコミュニティセンターの業務の負担軽減に関しての見直し内容と、他地域では自治会活動支援アプリを活用し、負担軽減を推進する体制を強化されているようですがそれらに対する見解を伺います。

イ 自治会・町内会の加入促進・脱退防止に関しては、現在活動されています自治会加入推進員はどのような活動をされていますか。また、自治会加入のメリットとはどういったことだと思われますか。能登半島地震での対応で自治会の大切さを強く感じましたが、いかがお考えか伺います。

| | |
|---|-----------------|
| 質問者 | 1 1 日本共産党 後藤 由美 |
| 質問事項・質問内容 | |
| (1) 施政方針策定にあたっての、市長の政治姿勢について | |
| <p>① 「所信」全般について</p> <p>ア 市長は、6年後の2030年に人口17万人台キープをめざすため各種施策をしっかりと前へすすめ、「誰もが笑顔になれるまち」の将来像の実現に向けて邁進すると表明された。しかし、現在の市民の暮らしは、コロナ禍の影響が色濃く残る上に相次ぐ物価高騰、実質賃金が上がらない、年金引き下げなどで、厳しさを増している。地方自治体の役割は、地方自治法に明記してある通り「住民の福祉の増進」であり、最優先すべきは市民の暮らしと命を守り、福祉を充実させることにある。市長は、市民の暮らしの実態をどう認識しているのか伺う。</p> | |
| (2) 持続可能な力強い農業振興について | |
| <p>① 農業施策について</p> <p>ア 全国的に米価暴落、畜産・酪農危機で離農・廃業がここ2年でさらに増えている。県内でもこの状態が続けば、十数年後には県内農業が消滅しかねない状況にある。生産コストを割ったままでは農業生産は続けられない。出雲で持続可能な力強い農業を続けるためにも、国民の食を守るためにも、輸入依存路線はやめ、食料自給率を早急に50%に引き上げ60%台をめざすよう国に要求すべきである。市長の認識を伺う。</p> <p>② 喫緊の課題である「担い手確保」について</p> <p>ア 「担い手確保・育成」の基本は、農業経営の多くを占める家族農業、中小農家を存続させることである。そのために、価格保障、所得補償を抜本的に充実させ、生産条件不利地である中山間地域でも持続的な農業ができるよう支援することが不可欠であると考えているが、市長の認識を伺う。</p> | |
| (3) 子育てにやさしい支援策について | |
| <p>① 「子どもの医療費助成」を拡充し、高校卒業まで窓口負担を無料に</p> <p>ア 「子育てにやさしい選ばれるまちづくり」のためには、子育て世帯が一番に望んでいる子どもの医療費助成を抜本的に引き上げ、高校卒業まで窓口負担を無料にすることにある。市長の決断を求めるが、認識を伺う。</p> <p>② 保育料の負担軽減について</p> <p>ア 12月議会において、出雲市認可保育所(園)保護者会連合会から「保育料の負担軽減に関する陳情」が提出された。家計にとって保育料の占める割合が高く、物価上昇や消費税などにより子育てをする上で経済的に厳しいという切実な声が再度寄せられたところである。この声に応え、保育料の負担軽減で「子育てにやさしい出雲」にすべきである。市長の認識を伺う。</p> | |

(4) ぬくもりのある高齢者福祉について

① 必要な介護サービスの基盤整備について

ア 介護保険料が高く、払えない滞納者が一定数いる。高齢者の暮らしを支えるためにも、約14億円保有している介護給付費準備基金を使い、保険料を引き下げるべきではないか。市長の認識を伺う。

イ 介護保険料を払っていても希望する特別養護老人ホームに入れない方が依然多く、昨年4月時点で930人が待機者となっている。必要な介護サービスの基盤整備というなら、最優先で特別養護老人ホームの建設にとりかかるべきである。市長の認識を伺う。

② 訪問介護サービスについて

ア 政府は、来年度の介護報酬改定で訪問介護事業所に支払われる基本報酬の引き下げを打ち出した。今、全国規模で事業者や介護家族らが「さらなる人材不足を招くことは明らか」、「訪問介護サービスが受けられない地域が広がりがねない」などとし、撤回を求めている。その中で市長は「中山間地域での訪問介護サービスの推進」を打ち出されたが、介護が必要な方に必要な支援が行き届くようになるのか、所見を伺う。

(5) 島根原発2号機の再稼働同意撤回と災害に強いまちづくりについて

① 島根原発2号機の再稼働同意撤回について

ア 能登半島地震により震源に近い北陸電力志賀原発の避難計画が、「絵に描いた餅」にすぎないことが明るみに出た。地震・津波国の日本で、原発再稼働は極めて危険だと今回の地震でも示された今、「誰もが安全・安心に暮らせるまち」にするために、原発の危険性を再認識し、島根原発2号機の再稼働同意撤回を県に求めるべきである。市長の認識を伺う。

② 災害に強いまちづくりへの備えについて

ア 能登半島地震では、救援活動の遅れや避難所の体制が整わないなどの問題が起きた。その原因の一つに県の「地域防災計画」の被害想定が不十分だったことが指摘されている。島根原発を抱える島根県、島根半島を抱える出雲市として、市民の命と安全を守るために被害想定は最大規模を想定することが求められている。現在の「地域防災計画」の見直し・強化の計画があるのか伺う。

イ 能登半島地震では道路の寸断などによって多くの孤立集落が生まれた教訓などを踏まえ、「防災備蓄物資計画」を再検証する必要があるが、所見を伺う。